

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	目安箱	災害避難所のコロナ対策について	大雨・台風等の季節の際に避難所におけるコロナ感染予防対策の準備は出来ているか、また感染者が発生した場合の対処を周知してもらえると不安・混乱も和らぐように思う。	<p>避難所における感染症対策として、対応方針の策定や避難所運営マニュアル作成指針の改訂を行い、サブ避難所の確保やホテル・旅館の活用等「分散避難」を推進するとともに、避難所の3密を回避するため、段ボールベッドやパーティション等の資機材を整備するなど、市町村と連携し、具体的な取組を進めています。</p> <p>また、感染者が発生した場合の対処も含めた避難所運営の具体的なシミュレーションを行い、その検証結果を動画や冊子に取りまとめ、市町村はもとより、広く県民に発信し、地域における避難所運営訓練等を実施してもらえよう働きかけています。</p>	危機保健
2	目安箱	徳島の観光について	徳島県で生まれ育ったのもっと徳島のいい所を県外の人に知って欲しい。LEDで企業と協力して西日本最大のイルミネーションスポットを作ったり、自然を生かしたアクティビティを増やしたり、医者が多いので病児保育を増やしたり、女性社長が多いので不妊治療や子育てをしながら働ける職場作りをしてはどうか。	<p>県においては、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」や徳島観光アプリ「徳島たびプラス」をはじめ、SNSを活用した「#徳島あるでないで」キャンペーンを通じて、定期的に徳島の魅力発信を行っております。また、昨年10月から募集を開始した「とくしまLOVEサポーター」につきましては、現在69名の方にご登録いただき、日々「徳島の魅力」をSNSやブログを通じ、情報発信して頂いているところです。</p> <p>働きやすい職場環境づくりの推進に関しましては、県では多様で柔軟な働き方である「テレワーク」を推進しており、「テレワークセンター徳島」を拠点に企業の導入支援を行っています。また、「子育てに優しい職場環境づくり」に取り組む企業等を「はぐくみ支援企業」として、令和元年度末時点で286社を認証するとともに、特に優れた取組みを実施した企業等については「知事表彰」を実施しています。</p> <p>また、病児保育については、各市町村において、地域の実情に応じた「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、事業を実施しているところであり、県においても、引き続き、市町村の円滑な事業実施に必要な支援を行って参ります。</p> <p>今後とも、多くの皆様に、こうした徳島の魅力を知っていただけるよう情報発信に取り組んで参ります。</p>	未来商工

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
3	目安箱	マリンピアの新たな将来について	マリンピアコンテナターミナルは、その機能が小松島に移ったことで広大な土地が未利用状態になっている。貨物船の誘致などで四国の内航港湾拠点とすべきである。またそれに伴う観光推進を行うべきである。	平成28年9月に貨物輸送能力を1.7倍に増強した「オーシャン東九フェリー」が就航する「マリンピア沖洲」は、「海上物流」を支え、令和3年度には徳島沖洲ICが供用される予定であり、陸海の結節点として更なる機能強化が図られることにより、四国の港湾拠点としての重要性がますます高まるものと考えています。 また、「マリンピア沖洲」では、3万t以下のクルーズ船を受け入れており、これまでに「ロストラル」、「にっぽん丸」などが寄港し、徳島ならではの食や文化・観光などを満喫頂いております。 今後とも、「マリンピア沖洲」が「四国のゲートウェイ」としての役割を担えるよう、頂いた御意見も参考にしながら、「物流機能の向上」や「港を通じた観光振興」にしっかりと取り組んで参ります。 なお、コンテナターミナル跡地の約2.3haについては、フェリーで輸送するシャーシの置き場や物流倉庫として全て利用されております。	県土
4	目安箱	剣山のトイレの改修について	過去に剣山に行ったとき、ロープウェイ入り口のところのトイレに「車いす対応のトイレ」がなかった。車いすで山に登れなくても、せめてそこまでは連れて行ってやりたいので早急に対応していただきたい。	県では、県が管理する自然公園の老朽化したトイレを順次改修しているところです。剣山の見ノ越第一駐車場の公衆トイレについては、車いすで利用される方にも使いやすいよう、令和2年12月に多目的設備を備えたトイレに建て替えました。令和3年の春には供用開始しますので、安心して剣山に訪れてください。	危機
5	目安箱	玄関にLEDバーを設置することについて	現在空き家が多くなり、各家庭への関心も減っている。LEDでお知らせバーを作成し、各住居の玄関に設置してはどうか。問題ない時は緑、災害時・SOSの時は赤になる。取り外して、遠くの方との情報伝達もできるのではないか。	大規模災害時、特に高齢者をはじめ要配慮者の方々を地域のコミュニティで見守り、一人も見逃さないためには、「自助・共助」の取組み、とりわけ自主防災組織、消防団等「共助」の役割が重要です。 このため、地域防災を担う人材育成や、自主防災組織、消防団等の活動支援など、地域防災力の強化に積極的に取り組んでいます。 この度の提言を貴重な意見として受け止め、今後の地域における防災力強化の参考とさせていただきます。	危機
6	目安箱	漢方生薬国産化支援について	漢方生薬を生産希望の農産者への行政支援を要請する。以前は国内でも生薬生産が行われていたが赤字経営が続くため生産を止めている。海外からの輸入量も減っており生薬原料が値上がりして価格が上がることで漢方薬を希望する人が困っている。	漢方生薬については、これまで、国の委託研究プロジェクトに参画し新たな栽培技術の開発や、農業支援センターを中心とした栽培技術指導などを通して支援しているところ。引き続き、漢方生薬などマーケットから需要のある品目を中心に、県と農業団体3者による事業共同体として設立した「とくしまブランド推進機構」等を活用し、「生産」から「流通・販売」に至る生産者の取組みについて一貫した支援を行って参ります。	農林

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
7	目安箱	徳島県のライブハウスについて	徳島県にはコンサートホールはあるが、ライブハウスは1軒しかない。収容人数1000人ほどのライブハウスが徳島駅前にてできれば駅前が明るくなるし、県外からのファンがたくさん来ると思う。阿波踊りが好きなように音楽がとても近い存在にある県なので、実現して欲しい。	県市協調による「新ホール整備」の検討を進め、大きな方向性や考え方を定めた「基本方針」を策定するなど、実現に向けて取り組んでいるところであります。基本方針においては、新ホールを核として中心市街地のにぎわい創出を図ることとしており、本県文化芸術の拠点として、県都のランドマークに相応しい施設整備を進めて参ります。	未来
8	目安箱	大雨時の浸水予測について	本県では雨量計を各地に設置して、各河川の水量を計測していると思うが、あらかじめ予測される雨量から堤防決壊などを予測してどの地域にどの程度の浸水が起きるか警告するようなシステムはないか。	台風の常襲地帯に位置する本県は、過去に幾度となく大災害に見舞われてきました。また、近年の気候変動により、数十年に一度の大災害が毎年のように全国各地で発生しています。 そのため、本県では、勝浦川において、气象台と連携して、洪水予報を実施しているほか、主要15河川において、「避難の参考となる水位」に達した場合、マスメディアや関係市町を通じて、県民の皆様にお知らせすることとしております。 更に、わかりやすい水害リスク情報の提供を図るため、河川監視カメラを整備し、切迫感のある映像を放送することとしております。今後とも、円滑かつ迅速に避難していただける取組みを推進して参ります。	県土
9	目安箱	wifiを使った火災報知器に	火災予防第一だが、予期せぬところから出火することもままある。そこでwifi(フリーを含む)と組み合わせた火災報知器を提案したい。	令和元年中の本県の火災で亡くなられた方のうち、65歳以上の高齢者が占める割合は約6割と高く、今後の高齢化の進行とともに、さらに増加が懸念されており、住宅火災による被害の軽減を図るため、住宅用火災報知器の設置は重要と考えております。このため県では啓発チラシの作成・配布、未設置世帯へのフォローアップ等の消防本部への協力依頼など住宅用火災報知器の普及に取り組んでいるところです。この度の提言を重要な意見として、今後の住宅防火対策の参考とさせていただきます。	危機